

2021年1月6日  
公益社団法人 日本フェンシング協会  
強化本部長代行 三野昌俊  
強化本部 監督 青木雄介

### ナショナル・チーム選手の新型コロナウイルス感染確認について③

平素より当協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

さて、昨年初より新型コロナウイルス感染症に対する強い懸念が世界的に広がり、また、日本においても、足許、緊急事態宣言の再発出が検討されるなか、選手間感染や練習場の汚染を防ぐとともに選手の健康状態の把握に努めて参りました。

この様な対応下、昨日1月5日の夕刻に、選手1名について新型コロナウイルスの陽性反応が確認されました。当該選手は発熱の症状はありませんでしたが、嗅覚に障害がみられ検査を受けたところ、陽性が確認され、現状、自宅隔離の措置を取っております。尚、当該選手は昨年12月25日に昨年の練習を終了し、その後、練習は再開しておらず、練習以外にも他の選手・コーチ等への接触はありませんでした。

今回の当該選手のコロナ陽性確認を受けて、本協会強化本部と致しまして以下の対応を致します。

- ・当該選手については、保健所の指示に従い対応する。
- ・また、上記経緯に鑑み、HPSC内の関係施設については、特に本件に関係したコロナウイルスによる汚染の懸念はない状況であり、通常通りの練習とする。

その他のナショナル・チームの選手・コーチ等につきましては、現状では特に異常は認められない状況ですが、本会が定めているガイドラインに基づき、これまで通り毎日の検温、利用後の消毒、行動範囲の記録を行うと共に、体調について引き続き、強化本部に毎日報告することを求めています。

これからも、JSC、JOC、JPCと連携の下、新型コロナウイルス被害拡大の抑止を最優先として対応に努めて参ります。感染拡大防止に向けてご理解とご協力を賜りますよう、心よ

りお願いを申し上げます。

以上